

想定される地震

Anticipated Earthquakes



国は、発生する頻度と大きさの異なる2つのレベルの地震・津波を想定し、静岡県ではそれぞれに応じた対策を進めている。発生頻度が比較的高く、大きな被害をもたらさず地震・津波がレベル1、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらさず、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波がレベル2である。

想定地震および各地震の震源域

| 区分 | 駿河トラフ・南海トラフ沿い | 相模トラフ沿い |
|------------|---|---|
| レベル2の地震・津波 | 発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらさず、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波（千年～数千年に1回程度の発生頻度） 【津波対策上の位置付け】 住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で設定する津波 南海トラフ巨大地震 (マグニチュード9程度) 【発生頻度はレベル1の地震より1桁以上低い】 | 元禄型関東地震 相模トラフ沿いの最大クラスの地震 (マグニチュード8.2～8.7程度)【30年以内発生確率:ほぼ0%】 |
| レベル1の地震・津波 | 発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらさず地震・津波（駿河トラフ・南海トラフ沿いでは約100～150年に1回程度の発生頻度） 【津波対策上の位置付け】 防潮堤など構造物によって津波の内陸への侵入を防ぐ海岸保全施設等の建設を行う上で想定する津波 東海地震、東海・東南海・南海地震等 (マグニチュード8.0～8.7)【30年以内発生確率:70%程度】 | 大正型関東地震 (マグニチュード8.0～8.2程度)【30年以内発生確率:ほぼ0～5%】 |

